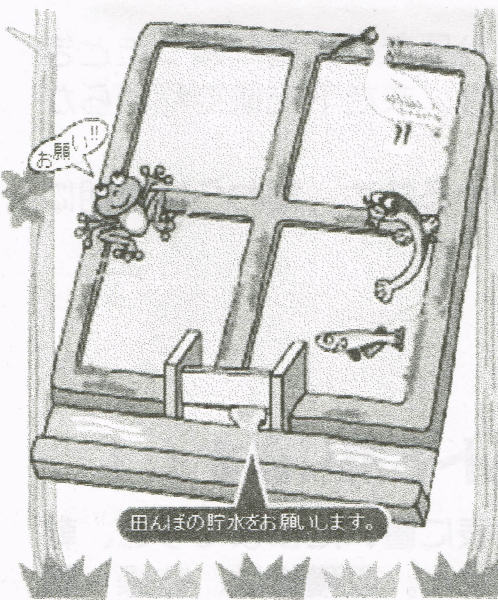


「田んぼ・ため池の貯水」のお願い

近年、地球温暖化などの要因により、全国各地で局地的な豪雨が発生しています。本市も、平成25年10月16日の台風26号による豪雨により甚大な被害を被りました。

【取り組み】



水田は、多面的機能をもっており、その1つに「貯水機能」があります。この機能を強化してより多くの雨水を水田に一時的に貯め、時間をかけてゆっくりと河川などに排水することで、洪水被害を軽減することができます。

台風などの豪雨が予想される際には、植え付け時と同様な形で排水量の調整をし、水田に「貯水」していただけるよう農業者の皆様のご理解ご協力をお願いします。

農業用ため池についても、農業用水としての活用と併せた防災保全機能を持たせた管理を行うことで災害防止が図れます。ため池の空き容量を活用した、洪水調節の機能を発揮するため、田んぼの貯水と同様に排水量の調整をお願いします。



※山間部など地域の状況により、畦畔や水路に影響を及ぼす可能性も考えられますが、出来るだけ御協力の程、お願いいたします。